

若鳩

卒業式式辞



校長 竹崎 実

心地よい春風が開成門を吹き抜け、芽を揺らす校庭の木々が一斉に芽を出す。卒業生の皆さんの人生の門出を祝福するかのような心躍らせる季節を迎えました。

本日ここに、ご来賓の皆様、そして多くの保護者、ご家族の皆様のご臨席のもと、令和七年度高知県立高知小津高等学校普通科第七十七回、理数科第五十六回の卒業証書授与式を挙行できまことを心より感謝申し上げます。

この晴れの日に本校を卒業される皆さん、卒業おめでとうございませう。

卒業生の皆さんが、期待に胸を膨らませ本校に入学した令和五年は、三月に野球の日本代表がワールドベースボールクラシックで世界一となつて日本中が歓喜に沸き、そして五月には、新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが第五類に移行し、私たちの日常生活における行動制限が大きく緩和された年です。学校においても、授業や部

活動、学校行事が徐々にコロナ前と同じようにできるようになり、長年の閉塞感から解放され、明るい雰囲気と活気が戻ってくることになりました。こうした年に入學した皆さんの学校生活もまた、将来への希望と意欲に満ち溢れたスタートであったのではないのでしょうか。

それから三年が経ち、成長した皆さんの姿を目の当たりにし、私自身もうれしく、また誇らしく感じるとともに、皆さんのこれまでのたゆまぬ努力に心から敬意を表したいと思いま

す。この三年間、将来の進路実現に向けた授業や補習、模擬試験、全国大会や自分の限界にチャレンジした部活動など、文武両道と言うことは簡単ですが、実際にそれを続けることは並大抵の努力ではできないことです。様々な困難を乗り越え、勉強や部活動、学校行事にひたむきに取り組み、一日一日成長していく皆さんの姿には、仲間や家族、そして私たち教職員も励まされてきました。皆さんのそ

うした姿が、見えないところで多くの人に感動や勇気を与えていたということ、そして皆さんの支えによつてここまで来ることができたということを決して忘れないでください。

私たちが生きているこの世の中は、予測することが難しい激動の時代を迎えています。医療や科学技術の発展が、それまで不可能であったことを可能にして私たちの生活を豊かにする一方で、AI技術などの急速な普及は、人としてどう考えるべきなのかという根本的な問いを私たちに突きつけてきます。さらには、世界各地で続く戦争や紛争は終わりが見えず、未知の感染症、地震や猛暑、豪雨災害などこれまで経験したことがないような出来事が毎年のように発生し、テレビやネットを通じて目にする現状に私たちは無力感を感じずにはいられません。

こうした社会に船出する卒業生の皆さんに、ここで三つのお願いをしたいと思います。

一つ目は、周りの意見を大切にしながらも、最終的には自分で決断して進んでほしい、そして決断できるだけの知識と力と身につけてほしいということです。人生の分かれ道に立つた時、進むべき道を決めるのは自分自身であり、「自分で決めたこと」と納得して次の一歩を踏み出すことが大切です。二つ目は、やり直すことを恐れないということです。今年

WAKABATO

発行所
高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局
〒780-0916
高知市城北町1-14
TEL 088-822-5270
FAX 088-823-6387

第112号若鳩

- ・卒業式式辞
- ・卒業生に贈る言葉
- ・PTAより卒業生へのメッセージ
- ・活躍の記録
- ・SSH活動報告
- ・皆勤賞
- ・修学旅行体験記
- ・錬歩会を終えて
- ・読書感想文コンクール
- ・学校評価アンケート
- ・合格者数一覧

など

<https://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>

冬季オリンピックがイタリアで開催されましたが、かつてスキのジャンプ競技で活躍した原田雅彦さんは、自身の失敗で金メダルを逃して大きな挫折を体験したその四年後の長野オリンピックで見事メダルを獲得しています。そうした体験から原田さんは「終わったことは変えられないが、明日の自分は変えることができる。失敗があつたから今の自分がある。」というメッセージを若者達に送つています。失敗し、壁に進めない時に大切な思い、倒れないことではなく、すぐに立ち上がつてやり直すことです。このやり直す時間は、自分の人生にとって決して無駄な時間ではありません。

倒れたこの『経験』は、新たなステップとして必ず力となつて自分を支えてくれます。三つ目は、人を頼り、人に頼られる人間になつてほしいということです。行き詰まつたときに、人に弱さを見せることは決して恥ずかしいことではなく、あなたを信頼していますというメッセージでもあります。助けを求めたその次には、自分ができる、そんな人間になればいいのです。この三つのお願いは、本校の校訓である「自律・協同・誠実」そのものであり、皆さんが高校生活の中で、学んできたことにほかなりません。

本日ご出席いただきました保護者等の皆様、お子様のご卒業

立派におめでとうございます。前に成長されたお子様をのぞくと存じます。保護者等の皆様からこれまでいただきましたお力添えに心から感謝を申し上げます。支援をいただければ幸いです。卒業生の皆さん、皆さんは本校創立一五二周年目の卒業生です。これまでに卒業した多くの先輩方の一日一日の学校生活の積み重ねが、今の本校につながつていますが、一五二分の三、皆さんの三年間は学校の長い歴史から見ればわずかな時間なのかもしれません。しかし、皆さんが過ごした三年間もまた、かけがえのない歴史として本校のページに刻まれ、この先の後輩たちに受け継がれていきます。どうかそういうことに自信と誇りをもって、これからの歩みを進めてください。高知小津高校に活躍を応援しています。

結びになります。本日ご多用の中ご出席いただき、皆様にご来賓の皆様、保護者等の皆様にご改めて感謝を申し上げますとともに、卒業する皆さんの将来が幸多き人生となることを願つて式辞といたします。

令和八年三月一日



三年学年主任

西森 靖芳

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。振り返ってみると、本当にあっという間の三年間だったと思います。

勉強・部活動・学校行事などに懸命に励むみなさんの真摯な姿が、目に浮かんできます。みなさんとともに過ごした三年間は、私にとってもすばらしい思い出になりました。ありがとうございます。

「確実なプレーこそ、ファイブプレー」です。

目の前のやらなければならぬことを、焦らず一つ一つ確実にこなしていくことが成功への近道です。

小津高校での経験を活かし、未来へ大きく羽ばたけ！

三―H担任

大黒 華

ご卒業おめでとうございます。掃除の時間が終わったら、何も言わずとも席に着き、放送を聞く体勢をとれるのが一Hです。毎日繰り返される何気ない一場面ですが、当たり前のことを当たり前前にできる、正に「凡

事徹底」を体現していました。そんな皆さんの姿に、いつも感心していました。本当です。小津高校で共に走り抜けた日々や、支え合った仲間との縁をこれからも大切にしてください。そして、身近にある小さな幸せをコツコツと積み上げられる人になってほしいと願っています。皆さんのこれからの歩みを、ずっと応援しています。

三―H副担任

山中 靖

卒業おめでとうございます。小津高校で培った、思いやりと優しい気持ち、そして強い意志を持って、一日一日を大切に過ごしてください。自分を信じて大切なものをたくさん見つけて、楽しい人生を送っていくことを願っています。

三―H担任

中内 貢

開かれた新天地へ向かって今まさに巣立つていこうとする三十五名の皆さん、卒業おめでとうございます。今日こうして卒業を迎えられるのも周囲の人々の陰ながらの支えがあったこと、そして何よりも三年間も高等学校に通わせてくれた保護者等に対して感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

小津高での三年間はどうか。授業や学校行事、部活動、何気ない友人との会話やひと時など今となってはいい思い出ではないでしょうか。私も君たちと出会ったことを誇りに思い、これからの人生を大切にしたいと思います。

最後に「ページはめくらないと始まらない」という言葉を贈ります。これから「どのペー

ジ」をめくりますか？

三―H副担任

大崎 文代

小津高校最後の一年、”いよいよ三年生！”という意気込みに溢れた三―H三十五名の教室に、小津高校に赴任したばかりの三十七人目として合流した四月から。日々のホーム、授業、行事などを通じた皆さんの成長、進路実現に向けて自分と向き合う姿を見守ることができた貴重な期間でした。

ご卒業、おめでとうございます。これからはさらに深く”自分”を見つめることが大切になります。目の前の課題に挑戦するエネルギー量は、いつも同じとは限りませんが、「挑戦しようとする心」は持ち続けていきましょう。

皆さんがこれからの自分の人生を様々な色で彩り、素晴らしいものにしていくことができま

三―H担任

岡田 里加

ご卒業おめでとうございます。共に学び、笑い、悩みながら歩んできたこの三年間、どんな時も目の前のことに全力で取り組む皆さんの姿に、私自身が励まされる毎日でした。

私の好きな歌の一節に「自分の人生の中では誰もがみな主人公」という言葉があります。これからの長い道のり、時には困難に出会うこともあるでしょう。けれど、主人公が葛藤を乗り越えるたびに、物語というのは深みを増していくものです。

みなさんがこれから歩む先に素晴らしい物語が続いていくことを心から願っています。

よき人生を。そしてよき出会いを。

三―H副担任

梅原 智也

ご卒業おめでとうございます。学校行事では誰よりも全力で取り組んで行事を楽しみ、各部門活動では最上級生としてリーダーシップを発揮するなど、頼もしく成長した皆さんの姿に心から感心していました。卒業後は、自分の将来について自分で判断し、自分で決めることにな

ります。大きな決断には大きな壁もつきものです。そんな時はぜひ小津高校で培った学ぶ力を生かしてください。高校で出会った仲間はずっと大切にし、たくさん頼ってください。そうして最後は、自分の決断で力強く前へ進んでください。またどこかで会いましょう！

三―H担任

森田 育未

ご卒業おめでとうございます。真面目で明るく、自分たちで考えて行動できる皆さんと過ごした日々はあつという間でした。勉強と部活動の両立に全力で取り組み、学校行事では互いに助け合う姿を見て、感心していました。高校生活で経験したことが、これからの人生で役立つときがやってくる。これから先、楽しいことも苦しいこともあると思いますが、できることを考えて一つずつやってみましょう。皆さんの人生が輝かしい未来になることをお祈りしています。

ご卒業おめでとうございます。五ホームは、僕が初めて担任として持ち上がった大切なクラスです。皆さんに助けられて、ここまで来ることができました。本当にありがとうございます。この二年間、部活動や勉強に打ち込む姿を見て、私自身も「負けずに

三―H副担任

寺尾 拓

卒業生のみなさん、保護者のみなさま、ご卒業おめでとうございます。

「身の宝より心の宝、心の宝より身の健やか」
お金よりも心の豊かさが大事であり、それ以上に健康が何よりも大切であるという教えです。保健体育の授業や部活動の意義とも重なります。これから先、自分だけでなく、家族や周りの人々とともに、何よりも心身の健康を大切に、豊かな人生を歩んでください。

三―H副担任

堀内美千子

ご卒業おめでとうございます。四ホームの皆さんは明るく元気で、そして集中するときには集中して取り組むことができる。はじめのある姿勢がありました。授業や学校行事等で懸命に努力する皆さんの姿に私はいつも励まされ、元気を力をたくさんいただきました。本当にありがとうございます。これから高知小津高校で過ごした三年間を糧にして、自分が選んだ道を楽しみながら歩んでください。皆さんのご健康とご活躍を心より願っています。

三―H担任

岩原 朋史

ご卒業おめでとうございます。五ホームは、僕が初めて担任として持ち上がった大切なクラスです。皆さんに助けられて、ここまで来ることができました。本当にありがとうございます。この二年間、部活動や勉強に打ち込む姿を見て、私自身も「負けずに

頑張ろう」と何度も勇気をもらいました。
卒業後は、自分の人生を「自分で決める」場面が増えます。決断には痛みを伴う覚悟が必要ですが、「自分はどうありたいか」という感性を信じて、一歩踏み出してください。どうしても悩んだ時は、ここで出会った友や小津高校を訪ねるとヒントがあるかもしれません。
またどこかで会える日を楽しみにしています。お互い積み重ねていきましょう！元気で！

三一五H副担任

三宮 奈三

ご卒業おめでとうござい

す。
五ホームは全体的には静かなクラスでしたが、この二年間、行事等を通して、皆さんの優しさや、ユニークで楽しい人柄にふれることができました。また、真面目に、誠実に努力を重ねた皆さんの歩みに、人として深い敬意を抱いています。今後心と身体の健康を大切に、夢や目標に向かって自分らしく歩んでください。思うようにいかないとくきも、どうか希望を手放さずに進まれますように。楽しい二年間をありがとうございました。

三一六H担任

門田 賢拓

ご卒業おめでとうござい

ます。
高校生活を思い出してみると、どんな場面が浮かんできませんか？皆さんがこの三年間で積み上げてきた経験は、これからの輝かしい将来へと続く大切なステップになることでしょう。
最後に、私が大切にしている言葉を贈ります。

「努力した者が全て報われるとは限らない。しかし、成功した者は皆すべからず努力している」
社会に出れば、思うような結果が出ず壁にぶつかるともあつて、それでも、未来を切り拓く唯一の手段は、歩みを止めないことです。これからも、自分を信じて努力し続けられる人であつてください。皆さんのさらなる飛躍を、心から応援しています。

三一六H副担任

羽方さおり

ご卒業おめでとうござい

ます。
六Hの皆さんとともに過ごした二年間の楽しかった学校行事や日常生活そして受験勉強に苦しんだであろう日々、今でもすべて鮮やかに思い出されます。門田先生の下で成長していったこの二年間、少しは皆さんのお手伝いができたでしょうか。
卒業生の皆さん、どうか「喜怒哀楽」の出会いを楽しんでください。心動くことにたくさん出会える日々は、きつと皆さんの人生を豊かにしてくれそうです。皆さんの人生に幸多かれと祈っています。

三一七H担任

西村 芳江

ご卒業おめでとうござい

ます。
私の思い出は、やはり理数探究です。二年生から始まった探究では、どのチームもギリギリまで実験し、ポスター作製し、ギリギリで発表に行き、本当に指導者泣かせでした。でも、その諦めない姿に研究する者の片りんが見え、内心はうれしかったです。七日は繊細な人

が多くて、一歩目を踏み出すのが大変でした。そんなみなさんに、この言葉を送ります。
Keep asking, and it will be given to you.
まず、求めてみることで。そして、求め続けることです。何か展開があるはず。実験と同じです。
勉強と部活動などの課外活動と研究と三兎を追って過ごした三年間を誇りにして、次の進路でも頑張ってください。応援しています。また、会いましょう。

三一七H副担任

大崎 悠

ご卒業お

め
三年生の皆さん、ご卒業おめ
でとうござい。皆さんとは今年度からしか副担任として共に過ごすことができませんでしたが、明るく個性的な皆さんとの日々は楽しく、充実したものでした。
「人生は掛け算だ」私が高校時代から好きな言葉です。
(1.01)³⁶⁵≒37.7 (0.99)³⁶⁵≒0.025
これまで、日々努力を重ね成長してきた皆さん、これからは努力を続け何倍にも大きくなることを期待しています。

三年団

和田真由美

これから大きな可能性を秘めて新たな道へ進んでいくことになりませんが、四月から急に楽しくバラ色な日々が待っているわけではありません。大学に入れば、たばかりのみなさんの先輩には「大学はもっと楽しいと思つていた」と口にする人もいます。そうなのです。楽しくバラ色の日々は自分で積み上げていくものなのです。地道に努力を重ね

ることで自分の居場所ができ、武器をたくさん持ち、自信をつけていくのです。そして、自身自身が輝ける場を見つめるので、自分自身で自分の可能性を広げて、日々成長していつてくください。そして、健康に留意して、また元気な姿を見せてください。

三年団

黒石 恵美

ご卒業おめ

でとうござい
日々の授業や部活動、学校行事で見せてくれた、皆さんの素直で誠実な姿が深く心に残っています。この三年間、それぞれに喜びも苦労もあつたことでしょう。その経験は皆さんの人生にとつて、かけがえのない財産になり、これからの自分を支える糧となるはず。可能性は無限大です。これからも人との出会いを大切に、自分の世界を広げていつてくください。皆さんが自分らしく輝ける場所を見つけ活躍されることを心から願ひ、応援しています。

三年団

山崎 功子

ご卒業おめ
でとうござい
ます。二年次より皆さんの授業を担当させていただきましたが、授業態度がまじめで、提出物をしっかりと出せる学年という印象でした。そのコツコツと努力する姿勢のおかげで、力を着実に伸ばすことができたと思ひます。高校で身に付けた英語力を土台にして、自分の世界を広げ、多様な文化や人々とつながって、豊かな人生を送つてくください。皆さんが地球市民の一人として、自分の生きる場所

より良い世界を作つていくことを願っています。ずっと応援しています。

三年団

山本 史子

ご卒業おめ
でとうござい
ます。三月は卒業や異動といった別れを伴う行事があります。これまでどの人生で何度も三月を越えてくると、その時の別れが一生涯の別れになることもあると思ふようになりまし。誰かと別れるとき「またいつか」と、経験上実現性の低いことを私はよく言います。心境は約束というより希望です。もう二度と姿を見ることがないのだとしても、どこか同じ空の下で元気で過ごしていつてほしいと願ひを込めて、卒業式での皆さんを見ていようと思ひます。皆さんが歩む先に、溢れんばかりの喜びがありますよう。さよなら、またいつか。

三年団

大崎 祥弘

皆さんがこの三年間で積み重ねてきた努力は、決して無駄にはなりません。思い通りにならなず涙した日も、逃げずに向き合つたその姿こそが、これからの人生を支える力になります。未来は不安もあるでしょう。それでも、自分を信じて一歩踏み出してくください。皆さんには、壁を越える強さがあります。胸を張つて進んでくください。卒業、心からおめでとうござい



PTAより 卒業生への メッセージ

【娘へ】

日々の活動を、目一杯のエネルギーで取り組む姿を頼もしいと思う反面、心配もしていました。しかし、話を聞き、受容し分かりあえる仲間と、励ましてくれる先生の存在に、もう親の役割は見守る事なんだと安心しました。そして貴女は、進む目標を決め、行動しましたね。勉強や部活動、大学受験：一つ一つのハードルを乗り越える様子、しっかりと見届けました。これからも、応援しています。健康と思いやりの心を一番大切に…。

父母より

【息子へ】

「小津高校に行きたい」と自分で選択した学舎での三年間はあなたを大きく成長させてくれたのではないかと思います。部活の試合では真剣な顔と気合の大きな声が意外だったけど頼もしく思えました。最後まで諦めずやり抜いた事は胸を張っていいし、そうさせてくれた頼れ励まし合える仲間がいた事が嬉しいです。これからの人生、未知数です。色んな事に迷い選択していくでしょう。自分を信じて道を切り開いて下さい。温かく応援しています。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。高校生活、多くの方に支えられ充実した三年間でしたね。弓道では、心が折れそうになることが何度もあったと思います。それでも周りの方に支えられ、諦めることなくやり続け、最後に目指していた場所に立つことができました。並大抵の努力ではなかったね。ほんとに凄い！試合の度に私も緊張しましたが、沢山楽しんでもらいました。ありがとう。これからも自分を信じ、あなたらしく、楽しんで、歩んで行ってくださいね。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。部活や勉強、校外での活動など自主的によく頑張りましたね。家では口数の少ないあなたがたくさんの方々に恵まれ毎日楽しく学べていたこと、いつも嬉しく思っていました。何も言わなくても、やるべきことを自分で考え行動に移せる、そんなあなたは自慢の息子です。これから県外の大学に行き新生活が始まりますね。健康に気をつけて色々なことにチャレンジしていくして下さい。

「道はじぶんでつくる。道は自分でひらく。人のつくったものはじぶんの道にはならない」これからのあなたの成長をまだまだ楽しみにしています。

母より

【息子へ】

高校生になり通学時間も延び、勉強と部活の両立も大変だったと思います。しかし、思い返せば、全く弱音を吐かなかったあなた。えらかったなあと思っています。これからは色々なことに挑戦して、自分の人生を力強く歩んで行ってほしいと思います。これからは私はあなたを応援しています。

母より

【娘へ】

卒業おめでとう。あつという間の三年間、部活に勉強に学校行事に推し活に、何事にも全力で取り組みましたね。そんなあなたを一番近くで応援できて、一緒に泣いたり笑ったりできて、本当に楽しかったです。娘と仲良くしてくれた友達も、お世話になった先生方も本当にありがとうございます。

自分で決めた道へ進む後ろ姿は頼もしくもあり、少し寂しくもあり、もうこんなに大きくなってしまったんだなあと思感しています。これから先、上手くいかないことも辛いこともあるかもしれない。だけど、あなたなら大丈夫。私も、家族も、みんながついています！あなたらしく、元気で、笑顔で、自分の人生を切り拓いていってください。ずっと、ずっと応援しています。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。

高校でソフトテニスをやりたいという希望を叶えた三年間。素晴らしい先生方や先輩、後輩、友達たちに出会え、たくさん助けていただきましたね。そのおかげで見違えるように成長したと、母の目には見えます。あなたの成長を心から誇りに思います。皆様に感謝し、周りの方に少しでもお返しできるように、精進し続けてください。これからもずっと応援しています。

母より

【娘へ】

卒業おめでとう。

入学した日が昨日のこのよう、三年間は本当にあつという間でした。学校や友達の話もたくさん聞かせてくれましたね。時には悩むこともあったけれど、きつと充実した高校生活だったのだと思います。朝早く起こされての通学も、休まずによく頑張りました。これからも自分のペースを大切に、いろんなことに挑戦していってください。ずっと応援しています。

母より

【娘へ】

あなたが三年間、部活、勉強に打ち込み、充実した高校生活を送ったこと、私は自分のこと以上に嬉しく思います。そして何より気の合う友達に出会えたこと。一生のうちに幾つかの宝物に出会えますが、かけがえのない、大切な宝物になりましたね。これから新しい世界で失敗を繰り返して成長していくと思いますが、失敗を恐れず、いっぱい失敗しながら全てを経験にして、自分という人間を磨いていってください。

最後に、同じ学び舎で共に過ごした三年生の皆さん、卒業おめでとう。ずっと応援しています。本当にありがとうございます。

母より

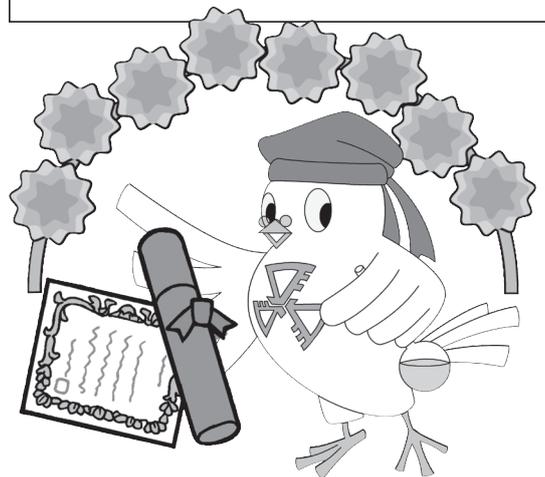
【息子へ】

卒業おめでとう！

高校入学後、あなたには驚かさずにかしがり屋なのに人前でパフォーマンスが出来るほどに物おじしなくなっていること。高校生活での様々な出会いや経験が、またあなたを成長させてくれたのだと有り難く思います。

これからも辛いことや楽しいことは山ほどあります。しかし、総合的に人生は面白いです。多角的な視点で物事を捉えながら、自分の人生を大切に歩んでください。応援しています！

母より



活躍の記録

【書道部】

◆第34回国際高校生選抜書展
入選

- 池澤 柚月 (3-2 H)
 - 宇根 瑞希 (3-6 H)
 - 岸田 さら (2-5 H)
 - 宇田 陽香 (1-3 H)
- ◆第48回高校書道展
奨励賞
- 池澤 柚月 (3-2 H)
 - 宇根 瑞希 (3-6 H)

- ★岸田 さら (2-5 H)
- ★第50回全国高等学校総合文化祭(秋田大会) 出場決定
- ◆第77回全国学生書道展
準大賞
- 岸田 さら (2-5 H)
- 福島 彩乃 (2-2 H)
- 全国学生書道展優秀賞
- 宇田 陽香 (1-3 H)
- 山地 沙和 (1-3 H)
- 保科 結乃 (1-4 H)
- 大川 琉子 (1-5 H)

- 半切1/2の部
- ◆(公財)書道芸術院理事長賞
- 岸田 さら (2-5 H)
- ◆第30回全日本高等学校書道コンクール
- 準大賞
- 福島 彩乃 (2-2 H)
- 宇田 陽香 (1-3 H)
- 全日本高等学校書道教育研究会賞
- 岸田 さら (2-5 H)
- 保科 結乃 (1-4 H)

【美術部】

◆第70回高校美術展
特別賞

- 山本 葵 (3-1 H)
- ◆高校美術展
最優秀賞
- 原 七佳 (2-1 H)

- 高校美術展ポスターの部
最優秀
- 原 七佳 (2-1 H)
- ◆令和7年度高知県高等学校総合文化祭
総合文化祭
- 池田 瑠菜 (1-1 H)
- 近藤 佑美 (1-2 H)
- 長崎明佑美 (1-7 H)
- ◆第48回高知県高等学校総合文化祭
総合文化祭ポスターの部
佳作
- 田村 瑠菜 (1-1 H)
- 近藤 佑美 (1-2 H)

- 総合文化祭ポスターの部
佳作
- 田村 瑠菜 (1-1 H)
- 近藤 佑美 (1-2 H)
- 長崎明佑美 (1-7 H)
- ◆第48回高知県高等学校総合文化祭
総合文化祭ポスター・チラシ部門
最優秀
- 佐竹 桜歩 (1-5 H)
- ◆令和8年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール
入選
- 亀井 れな (2-1 H)

【写真部】

- ◆令和7年度高知県高等学校総合文化祭写真部門
- ◆第45回高知県高等学校写真展
奨励賞
- 鍋島祐里花 (1-7 H)

【図書部】

- ◆第29回高知県高等学校新聞コンクール
- 特別部門
奨励賞
- 高田早耶佳 (3-1 H)

【将棋囲碁部】

- ◆第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会高知県予選
第2位
- 岩崎十二郎 (1-5 H)
- ◆第22回四国地区高等学校文化連盟将棋選手権大会
男子個人戦
第2位
- 岩崎十二郎 (1-5 H)
- ◆第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会
男子個人戦
出場
- 岩崎十二郎 (1-5 H)

【演劇部】

- ◆第50回四国地区高等学校演劇研究大会
優良賞
- 藤川 彩楓 (2-1 H)
- 吉岡 翠 (2-1 H)
- 門脇 大輝 (2-2 H)
- 高橋くるみ (2-3 H)
- 田村 朱麗 (2-3 H)
- 東 あき (2-4 H)
- 西村 ちな (1-2 H)
- 山諸 天地 (1-7 H)

【新聞部】

- ◆第29回高知県高等学校新聞コンクール
- 学校新聞部門
奨励賞
- 西本 真未 (3-1 H)
- 野口 春乃 (3-7 H)
- 楠瀬 寛人 (2-6 H)
- 岡村 充流 (2-7 H)
- ◆第49回全国高等学校総合文化祭かがわ総文祭2025
新聞部門
出場
- 岡村 充流 (2-7 H)

【男子バスケットボール部】

- ◆令和7年度高知県高等学校バスケットボール冬季選手権大会
ベスト8
- 松本 佳大 (2-1 H)
- 三木原美月 (2-1 H)
- 田中 優真 (2-2 H)
- 篠内 朝日 (2-3 H)
- 有田 陽斗 (2-4 H)
- 小原 天晟 (2-4 H)
- 小井手虹太 (2-5 H)
- 高松 依吹 (2-5 H)
- 岡林 友誠 (2-6 H)
- 邑田 悠綺 (2-6 H)
- 安岡 悠真 (2-6 H)
- 梶原 成海 (2-7 H)
- 松本 太陽 (2-7 H)
- 小松 丈人 (1-2 H)
- 細川 侑大 (1-2 H)
- 松田隆之介 (1-4 H)

【女子バスケットボール部】

- ◆令和7年度高知県高等学校バスケットボール冬季選手権大会
ベスト8
- 川崎 葵衣 (2-1 H)

【男子バレーボール部】

- ◆令和7年度高知県高等学校バレーボール秋季大会
ベスト8
- 池 亜月 (2-5 H)
- 大原菜々美 (2-5 H)
- 川田 杏 (2-5 H)
- 山本 采和 (2-6 H)
- 武内 美都 (1-2 H)
- 井上 莉緒 (1-3 H)
- 西尾 果穂 (1-4 H)
- 中澤 諒子 (1-6 H)

◆令和7年度高知県高等学校バレーボール冬季大会 ベスト8

- 片岡 千耀 (2-1 H)
- 久保田遥斗 (2-1 H)
- 木村 柊太 (2-2 H)
- 田村 優太 (2-3 H)
- 平田 空 (2-3 H)
- 田所 英真 (2-5 H)
- 筒井 愛留 (2-6 H)
- 山崎 陸 (2-6 H)
- 岡本 利央 (2-7 H)
- 植田虹太郎 (1-2 H)
- 大野 樹生 (1-2 H)
- 下田 匠人 (1-6 H)

武子 子竜 (1-6 H)
尾崎 椎菜 (1-7 H)
山諸 天地 (1-7 H)

【卓球部】

◆令和7年度第53回全国高等学校選抜卓球大会四国地区予選会

○男子団体
第6位

黒原 伊吹 (2-1 H)
田上 輝 (2-2 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
水谷 薫 (1-1 H)
奥野 海翔 (1-2 H)
谷岡 優太 (1-2 H)

◆令和7年度第72回四国卓球選手権大会

○男子団体
出場

田上 輝 (2-2 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
奥野 海翔 (1-2 H)
谷岡 優太 (1-2 H)
西森 遼 (1-2 H)

○男子ジュニアシングルス
ベスト16

濱田 隼矢 (2-2 H)
出場

井上 晴斗 (2-4 H)
水谷 薫 (1-1 H)
奥野 海翔 (1-2 H)

○女子団体
出場

下元 千夏 (2-3 H)
西田 瑠来 (2-4 H)
島崎 歩 (1-4 H)
小原 彩羽 (1-5 H)
逢坂 穂花 (1-7 H)

○女子シングルス
出場

下元 千夏 (2-3 H)
西田 瑠来 (2-4 H)
小原 彩羽 (1-5 H)
◆令和7年度中学生・高校生オープン冬季卓球大会

○団体
第1位

黒原 伊吹 (2-1 H)
濱田 隼矢 (2-2 H)
井上 晴斗 (2-4 H)
奥野 海翔 (1-2 H)
第3位
前田 廉次 (2-4 H)
谷岡 直翔 (1-5 H)
逢坂 穂花 (1-7 H)

【バドミントン部】

◆令和7年度高知県高等学校秋季バドミントン選手権大会

○男子ダブルス
ベスト8

西村 柁雅 (2-1 H)
橋田 航典 (2-3 H)
武田 哲拓 (2-5 H)
門田隆太郎 (1-1 H)
◆令和7年度高知県高等学校冬季バドミントン選手権大会

○男子ダブルス
ベスト8

西村 柁雅 (2-1 H)
橋田 航典 (2-3 H)
岡 七星 (1-5 H)
土居 美月 (1-5 H)

【陸上部】

◆第37回全国高等学校女子駅伝競走大会高知県予選会
第3位

河合 花梨 (3-1 H)
近藤 瑠愛 (2-5 H)
武内 望央 (1-3 H)
橋本七愛音 (1-4 H)
吉良 環那 (1-5 H)

◆第37回四国高等学校駅伝競走大会
出場

河合 花梨 (3-1 H)
近藤 瑠愛 (2-5 H)
芝 彩芭 (2-5 H)
武内 望央 (1-3 H)
吉良 環那 (1-5 H)



【男子剣道部】

◆令和7年度高知県高等学校剣道秋季大会
男子個人戦
第2位

村田 啓彰 (2-1 H)

※四国新人大会出場権獲得
(令和8年1月実施予定)

◆令和7年度高知県高等学校剣道冬季大会
男子団体戦
第2位

西山 来希 (2-1 H)
村田 啓彰 (2-1 H)
松熊 唯生 (2-2 H)

篠崎 陽 (2-3 H)
田村 俊輔 (1-6 H)
○男子個人戦2年生の部
第3位

村田 啓彰 (2-1 H)
○男子個人戦1年生の部
第2位
門屋 幸大 (1-1 H)

【ライフル部】

◆令和7年度高知県高等学校ライフル射撃競技冬季選手権大会

○ビームライフル少年男子立
第1位
尾崎凜太郎 (2-2 H)
第3位
伊藤 慎悟 (2-5 H)
第5位
山本 朱濤 (2-2 H)
第8位
麻田泰之介 (2-6 H)

○ビームライフル少年女子立
射60発競技
第7位
高橋 瑠里 (2-1 H)
第8位
影山 結美 (1-3 H)
第9位
大野 柚寿 (1-1 H)

○ビームピストル少年男子立
射60発競技
第5位
西村 奏汰 (2-7 H)

○ビームライフル少年男子立
射60発競技団体
第1位
尾崎凜太郎 (2-2 H)
伊藤 慎悟 (2-5 H)
麻田泰之介 (2-6 H)

○ビームライフル少年女子立
射60発競技団体
第2位
高橋 瑠里 (2-1 H)
大野 柚寿 (1-1 H)
影山 結美 (1-3 H)

【水泳同好会】

◆第12回全日本ジュニア(U-17)水球競技選手権大会
四国ブロック予選
水球
第1位

有藤 友作 (2-3 H)
◆第12回全日本ジュニア(U-17)水球競技選手権大会
水球
出場
有藤 友作 (2-3 H)
◆令和7年度高知県春季ジュニア水泳競技大会
女子1000m自由形
第3位
岡村 咲希 (2-4 H)

◆令和8年度高知県春季ジュニア水泳競技大会
男子1000m平泳ぎ
第3位
佐野 陽飛 (1-5 H)





令和七年度SSH活動の概要

SSH認定校二年目の令和七年度も、もうすぐ終わろうとしています。今回は、十一月以降に取り組んだ探究活動や高大連携事業、授業改善に関わるSSH活動についてご紹介いたします。今後も、『地域で活躍できる人材（リージョナル・イノベーター）の育成』を目指して探究活動に取り組みでいきたいと思えます。

SSH課題研究活動の様子

◆普通科一年生

総合的な探究の時間

○「地域フィールドワーク」

十一月十八日(火)に、「地域フィールドワーク」を実施しました。普通科一年生が七つの分野(①ものづくり系、②環境・エネルギー系、③農林・水産系、④中山間地域活性化系、⑤医療系、⑥まちづくり・生活福祉系、⑦ミュージアム系)に分かれ、県内の企業等を訪問し、講演や見学等をと



ポスターを作成している様子



ショウガの貯蔵庫を見学している様子

おして、訪問先の特色や強み、高知県の地域課題解決に向けた取り組みについて学ぶ活動です。事前学習で訪問先について調べた上で、現地での見学や質問を行いました。

帰校後は、個人で振り返りを行った後、グループで意見交換や情報共有を図りました。グループごとにポスターを作成し、クラス発表会を経て、二月十三日には、体育館で学年発表会を行いました。

◆普通科二年生

総合的な探究の時間

○「総探クラス発表会」

十一月以降、これまでの調査活動で得られたデータを分析し、明らかにした結果をスライドにまとめてきました。一月二十二日(休)と二十九日(休)には、クラス発表会が行われ、研究の目的や仮説、調査結果から考えられる結論等について、スライドをもとに発表しました。



クラス発表会の様子

発表用スライドには、図やグラフ、イラストなどが取り入れられており、各グループの創意工夫が見られました。また、質疑応答の時間には、様々な質問や意見が飛び交い、互いに良い刺激になったと思います。今後は、発表会をおして得たことを活かして、研究論文の作成を行います。

◆理数科一年生

理数探究基礎

○「ミニ課題研究Ⅱ」

二期は、物理(空気抵抗)・化学(pHと色素)・生物(植物のDNA量)・数学(多角形と円周率)の各分野に分かれてミニ課題研究Ⅱに取り組みました。それぞれの分野で仮説を立てて実験・実習を行い、未知を明らかにするためのプロセスを体験しました。また、一学期と取り組む分野を変えることで、幅広い実験技能の習得も目指しました。



ミニ課題研究Ⅱの様子

実験・実習の成果は、スライドにまとめて口頭発表を行うことで、課題発見力や論理的・批判的思考力、プレゼンテーション能力の向上を図りました。発表の仕方や質疑応答の様子を見ると、一学期よりも堂々とされており、成長の様子が始まりました。二年生から始

まる課題研究ではこれらの経験を生かして、精一杯取り組んでくれることを期待しています。

◆理数科一年生 理数探究基礎

○「OZU防災」

昨年度から三学期は「防災」をテーマに、文理融合型学習の実現に向けた授業改善の一環として、OZU防災に取り組んでいます。今年度は「国語」「数学・情報」「英語」「理科」

「地歴公民」「芸術」「保健体育」の七グループに分かれ、それぞれのグループに各教科の先生方に入ってもらいました。「防災」について各教科の視点を加え、新たな見え方やつながりを発見していく中で、改めて身近にある防災上の課題など明らかになったことを一枚のポスター絵にまとめ、発表会を行いました。今後は、これらの取組をブラッシュアップしながら、様々な場面で文理の枠を越えた「総合知」の育成に取り組んでいきたいと考えています。



◆**理数科二年生 理数探究**
 ○「課題研究中間発表会」
 六月の課題研究テーマ発表会以降、六領域（物理二・化学三・生物二・地学一・総合二・数学一）計十一グループで課題研究に取り組んできました。
 十一月の課題研究中間発表会では、実験活動等で得られた成果や研究の進捗状況を発表しました。先生方やクラスメイトからの質問に対して相談しながら回答する姿も見られ、自分たちの研究に対する理解をより



○ZU防災「芸術」
災害時の心理変化(KJ法)



○ZU防災「国語」
外部講師による「やさしい日本語」

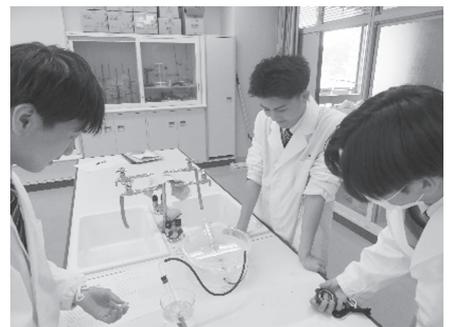


植物化石の模擬採集の様子

◆**理数科二年生**
 ○ZUサイエンス地学
 ○「化石を調べる」
 十二月九日(火)に、石灰岩に含まれる化石の観察と植物化石の模擬採集を行いました。石灰岩については、はじめ肉眼では模様のようにしか見えなかったフズリナ化石(有孔虫のなかま)を、水で濡らしたり拡大鏡を使ったりして、小豆くらいの大きさで内部は複雑な構造を持っていることを確認しました。「植物化石の模擬採集」で扱った泥岩は、栃木県北部塩原にあった湖に数十万年前に堆積したものです。化石の取り出しは多くの人が初体験で、植物化石の葉の部分の細部の様子を観察し化石の美しさをみんなで共有できました。
 この日、化石が含まれる岩石を観察することを通して、さまざまな生物がどのような環境で生きていたか考えたり、化石同定(植物の種類を決める)では生徒たちが話し合ったりと、主体的な活動ができました。

◆**理数科二年生**
 ○ZUサイエンス化学
 ○「化学反応の速さ」
 一月二十日(火)に、OZUサイエンス化学「化学反応の速さ」を実施しました。
 今回は、実験データを正しく処理することを目的に、過酸化水素の分解反応を用いて化学反応の速さと物質の濃度、および温度や触媒との関係性を考察しました。
 濃度未知の過酸化水素水に触媒(均一触媒)を加えて分解反応を起こし、発生した酸素の体積から過酸化水素水の濃度を導き出しました。このとき、反応温度を二十度の班と十度の班に分けて実験することで、温度と反応速度の関係についても考察できるようにしました。
 求めた過酸化水素水の濃度と分解速度の関係をまとめてグラフ化することで、反応速度定数を求めることができました。
 複雑な単位変換に悩まされながらも、体験的に化学反応の速さについて学習することができました。

◆**短期集中体験ゼミ**
 ●「生命科学体験ゼミ」
 十二月十八日(休)から二泊三日、高知大学物部キャンパス内の遺伝子実験施設にて「微生物の培養・観察」「事前学習で採取した微生物の同定(PCR・DNA塩基配列決定)」「緑色蛍光タンパク質(GFP)遺伝子の大腸菌への導入」の実習に他校の生徒も合わせて十九名が参加しました。
 生物の教科書では内容を取り扱うものの、学校では実施困難な実験・実習(大学生レベルの実験)であるため、大変貴重な体験となりました。キャンパス内の宿泊施設に泊まり込み、大学生協の食堂で食事をとりながら、朝から晩まで、遺伝子や微生物について考える濃密な時間を過ごしました。
 実験の空き時間には研究施設・研究室の見学を行な



実験に取り組む様子

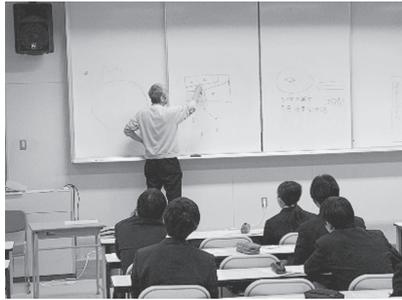
◆**短期集中体験ゼミ**
 ●「数学体験ゼミ」
 二月八日(日)本校にて高知大学教育学部の先生方をお招きして「数学体験ゼミ」を実施しました。内容は代数学・幾何学・解析学の各専門分野から「トポロジカルゲーム」や「階乗の秘密」などの内容で、五名の各先生方お一人ずつから講義が聴ける大変贅沢なゼミでした。
 図形の変形パズルでは、

ったり、研究室の学生たちと交流したりして学生生活・勉強など、幅広い話をうかがうなどしました。



図形の変形パズルでは、

普段の数学の授業とは異なっただけで、視点や数学的な考え方、問題を捉えたり、体験的な活動を通して楽しんで、高度な内容ができました。粘り強く考えることで、生



数学体験ゼミの様子

正三角形から正方形を作る「当たり前」に見えること、裏側に深い論理が隠れていることを実感することができました。また、自然数と整数はどっちが多いと題して、大学で学ぶ濃度について学び、直感で認められないものが、論理で納得できる不思議な感覚を感じ、数学の有用性を感じる講義でした。他にも連続についての講義では、小学校から内容から振り返り、少しずつ発展させながら、イプシロンデルタ論法の入り口までを学び、大学数学で学ぶ高度な内容を知る機会となりました。



海洋コア国際研究所での様子

徒は考え方に深まりを感じ、数学の面白さを感じていました。また、数学の世界の広がりや大いに感じたゼミになりました。

◆サイエンスファイルドワーク
 ◆理数科一年生 高知海洋コア国際研究所 & 芸西メランジュ

十一月十八日(火)に、理数科一年生は南国市にある高知大学海洋コア国際研究所を訪問しました。

この研究所は、地球深部探査船「ちきゅう」が世界各地で採取した海洋コアサンプルの分析から地球規模の気候変動や地球活動等について研究する施設で、世界に三方所(アメリカのテキサス、ドイツのブレーメン、日本の高知県)しかない海洋コアサンプルの保管施設です。JAMSTECなどの機関と協力して、最先端の研究が行われている場所です。



地層巡検の様子

午前中は、奥村知世先生から研究所の役割や宝石サンゴ、龍河洞の鍾乳石の研究などについて講義をしていただきました。その後、様々な海で採取され冷凍保存されている海洋コアサンプルや、実際に研究で使用された鍾乳石などを見学させていただきました。

午後からは、芸西メランジュ村にある「芸西メランジュ」と呼ばれる中生代白亜紀前後に堆積した地層の巡検を行いました。藤内智士先生から説明を受けた後、生徒たちは、色や模様・硬さ・手触りなどから岩石の種類の見分けに挑戦するなど熱心に活動していました。

過去の地層を研究することで、近未来の地球環境の予測につながっていることなどを学び、地層や環境に関する知識・意識が高まる体験となりました。

三年間皆勤

3 7 H	3 6 H	3 5 H	3 4 H	3 3 H	3 2 H	3 1 H
濱田晴輝	山崎結太	宗石直樹	田村倫太郎	鈴木智優	宇根瑞希	宇根瑞希
渡邊彩巴	細川彩	田村瑞	小松太一	石川竜	都築砂羽	石川竜
佐々木	小笠原	終心	花	徳永優太	近藤優	柏木南々
山本眞葵	濱田	浜田	小川	池田	池田	池田

皆勤賞は三年間、無遅刻・無欠席・無早退・無欠課の生徒を対象としています。おめでとうございます。(令和8年2月5日現在)

1年生 修学旅行体験記

「修学旅行での思い出」 1-4H 岩本 明紗

私たちは4泊5日で新潟、千葉、東京に修学旅行に行ってきました。この5日間は初めて体験することも多く、とてもいい思い出になりました。特にスキー研修が印象に残っています。

初日、関越トンネルを抜けると、そこは雪国でした。テレビでしか見たことのない真っ白な世界にとっても感動しました。ホテルに着いたとき、雪はみんなの背丈以上に積もっていて、お屋敷みたいに見える大きな建物を見て、長い時間バスに乗っていた疲れを忘れるぐらい舞い上がりました。

翌日からスキー研修が始まりました。最初は、板をつけていない時でさえ歩くのが難しかったです。こんなに重い靴を履いて、こんなに長い板をつけたことがなかったので、初めての感覚でワクワクしました。初日の午前中に基礎をしっかり教えてもらって、午後から坂を滑り始めました。最初は怖いと思っていた坂も、滑り慣れてくると全然怖くなくなって、とても楽しくなってきました。しかし、慣れてきて気を抜いた瞬間に転んでしまったので、調子に乗たらいけないと改めて感じました。2日目の午後には、班のみんなで山の高いところから滑りました。今までのコースとは全く雰囲気の違い、みんなも恐怖心があったと思いますが、最終的にしっかり滑り終えて、仲間と協力する楽しさを感じることができました。

このスキー研修で、集団行動の難しさや楽しさ、健康管理などたくさんのことを学びました。これからの高校生活にも生かしたいと思います。



「修学旅行での気づき」 1-7H 中川 遙

私たちは、新潟と東京に4泊5日で修学旅行に行ってきました。私の中で特に心に残っているのは、2日間行ったスキー研修でした。

私はスキーをするのが初めてだったため、慣れない環境と装備に期待と不安が入り混じっていました。最初は何度も転んでしまい、起き上がるのがやっとでした。しかし、インストラクターさんの丁寧なご指導と、友達からの励ましやアドバイスで徐々に上手く滑ることができるようになっていき、不安は楽しさへと次第に変わっていきました。2日目には、山頂からコースを滑って降りることにチャレンジしました。何度も転び、インストラクターさんや友達には迷惑をかけたけれど、転ぶたびに雪の上を滑る感覚やブレーキのかけ方を掴んでいき、自信がついていきました。そして、山頂から見える絶景を前に滑ることができた爽快感は、今でも覚えています。

スキー研修が終了した後の夜には、クラスの友達と美味しい食事をいただき、部屋で夜遅くまで語り合いました。普段とは違う友人の一面を見ることができ、友情が以前よりも深まったと感じました。また、食事や集合時間を厳守することで、集団行動の重要性も再確認することができました。

私たちが無事に修学旅行を終えられたのは、丁寧に指導して下さったインストラクターさんやお世話になった先生方、励ましてくれた友達、そして修学旅行に送り出してくれた家族のおかげです。この感謝の気持ちを忘れずに、これからの高校生活を過ごしていきたいです。

錬歩会を終えて

生徒会体育部長 森光 遥翔 (2-4 H)

私たち二年生は、一月三十日に、学校から新宮公園への往復十八キロの道のりを、およそ五時間かけて歩く、錬歩会という学校行事に参加しました。参加するまでは、十八キロという長い距離を歩くと聞いて、とても不安でしたが、いざ始めると、友達との会話が楽しく、あつという間に目的地に到着しました。新宮公園は、少しイメージしていた公園とは違いましたが、到着後すぐに各ホームで集合写真を撮り終えると、皆が、持参した昼食を夢中で食べている光景が印象的でした。過ごしやすいくらいの気温だったこともあり、思っていたほどの疲労感はありませんでした。帰り道は、ほぼ下り道で少し気持ちの余裕もできて、歩くことでしか感じられない自然や、街を見下ろす景色を楽しむことができました。この経験を通して、歩くことの大切さや、苦しいことも仲間となら楽しく乗り越えられるということ学びました。

二年生の学校行事もこの錬歩会が最後となり、小津高校で過ごす期間も、残り約一年となります。日々の生活を大切に、文武両道に励み、これからの学校生活を、仲間と共に、より良いものにしていきたいと思えます。



◆第71回高知県青少年読書感想文コンクール (高知県高等学校学校図書館協議会)

本年度は最優秀賞一名、入選十八名という結果となりました。

最優秀賞

宗崎さくら (2-2 H)

入選

- 大野 柚寿 (1-1 H)
- 泉 篤志 (1-2 H)
- 西川 結渚 (1-2 H)
- 中村真奈美 (1-3 H)
- 山本 真菜 (1-3 H)
- 西村 新菜 (1-5 H)
- 山岡 菜緒 (1-6 H)
- 山中 一輝 (1-6 H)
- 高橋良太郎 (1-7 H)
- 川崎 葵衣 (2-1 H)
- 森本 結衣 (2-3 H)
- 山崎 結 (2-3 H)
- 伊藤 大志 (2-4 H)
- 前田 廉次 (2-4 H)
- 山崎虎太郎 (2-5 H)
- 吉市 早希 (2-5 H)
- 石原 匠 (2-6 H)
- 小崎 光織 (2-7 H)

令和7年度 学校評価アンケートについて

高知小津高等学校長

本校では、開かれた学校づくりの一環として「学校評価アンケート」を実施しています。本年度も12月に生徒、保護者等、教職員、小津会、学校運営協議会委員等の皆様に、アンケートの回答にご協力いただきました。アンケートの実施方法については、GoogleのFormsを利用した回答としました。多くの方々にご協力いただき感謝申し上げます。

アンケート結果を見てもと、今年度も例年同様に学校の取組について概ね肯定的な評価をいただいたものと考えております。今回、評価のあまり高くなかった項目や、ご指摘いただいた事項につきましては、改善の手立てを講じながら、本校のさらなる充実・発展に向けて取り組んでまいります。今後とも本校の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。

学校評価アンケート(生徒・保護者等・教職員)集計と分析

回答は、各設問に対し、次の1から5のいずれかを選ぶ方式です。「1：そう思う」「2：ややそう思う」を肯定的な評価と考え、主として肯定的な評価に着目して分析を行いました。

1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：分からない

調査対象	生徒	773名のうち	724名回収 (回収率 93.7%)
	保護者等	773名のうち	549名回収 (回収率 71.0%)
	教職員	84名のうち	78名回収 (回収率 92.9%)

1 2 3 4 無回答

(1) 本校に入学して良かったと思っていますか。
 (保) お子様を入学させて良かったと思いますか。
 (教) 生徒は本校に入学して良かったと感じていると思いますか。

生徒89.4%(昨年90%)、保護者等94.4%(昨年92%)、教職員100%(昨年99%)が良かったと感じている。生徒、教員については昨年度と同程度となっている。保護者等の肯定的評価も若干上がっており、今後も、100%の満足度に向けて取り組んでいく。

対象	1	2	3	4	5	無回答
生徒	43.8%	45.6%	9.0%	0.0%	1.7%	0.0%
保護者等	67.6%	26.6%	3.3%	0.7%	1.6%	0.0%
教職員	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 目標をもって学校生活を送っていますか。

生徒88.9%(昨年87%)、保護者等89.4%(昨年86%)、教職員94.8%(昨年92%)である。生徒の肯定的評価は昨年度から若干上がっており、保護者等、教職員についても肯定的な評価が上昇している。学習や部活動、学校行事など、教育活動の様々な場面において、自らの目標を設定し、意欲的に取り組むことができていると考えられる。

対象	1	2	3	4	5	無回答
生徒	46.1%	42.8%	9.4%	0.0%	1.7%	0.0%
保護者等	54.1%	35.3%	8.6%	1.3%	0.7%	0.0%
教職員	22.1%	72.7%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 小津高校の授業に満足していますか。

生徒89.3%(昨年88%)、保護者等82.0%(昨年80%)、教職員93.2%(昨年95%)が肯定的に回答している。生徒、保護者等からの評価は昨年度から若干上がっている。今後も、生徒の学習状況を把握しながら授業の工夫・改善に努め、生徒の主体的な学びを育てる授業を目指して取り組んでいくことが必要である。

対象	1	2	3	4	5	無回答
生徒	34.5%	54.8%	9.3%	0.0%	1.4%	0.0%
保護者等	33.7%	48.3%	8.0%	8.4%	1.6%	0.0%
教職員	13.7%	79.5%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) 予習や復習などの家庭学習の取組が達成できていますか。
 1年：平日2時間、休日3時間／2年：平日2～3時間、休日4時間、
 3年：平日4時間以上、休日6時間以上

生徒45.9%(昨年47%)、保護者等55.4%(昨年46%)、教職員37.1%(昨年34%)となっている。1年生は27.1%、2年生は35.3%、3年生は79.8%が肯定的な回答をしている。保護者等早い段階からの習慣付けが大切であるとともに、基本的な生活習慣を身に付け、学校の活動(授業、部活動、学校行事等)に生徒が主体的に取り組んでいくことが重要である。

対象	1	2	3	4	5	無回答
生徒	19.9%	26.0%	34.7%	19.5%	0.0%	0.0%
保護者等	28.4%	27.0%	24.8%	18.6%	1.3%	0.0%
教職員	30.0%	42.9%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(5) 授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多いと思いますか
 (教) あなたは授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしていますか。

生徒81.4%(昨年85%)、保護者等47.4%(昨年37%)、教職員82.0%(昨年72%)となっている。今年度は、初めての取組として、「教員と生徒で『授業について語ろう会』」を実施し、よりよい授業について話し合いをする機会をもった。また、教員相互の公開授業を通じ、他教科の教員の授業から学ぶ機会も多くあった。このようなことから、学校全体としてよりよい授業に向けた意識化が図られたものと考えられる。今後は、校内に設置した「授業デザインプロジェクトチーム」が中心となり、生徒の声を生かしながら、授業改善の取組を推進していく。

対象	1	2	3	4	5	無回答
生徒	37.2%	44.2%	15.5%	0.0%	3.2%	0.0%
保護者等	20.8%	26.6%	9.1%	42.1%	1.5%	0.0%
教職員	23.0%	59.0%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%

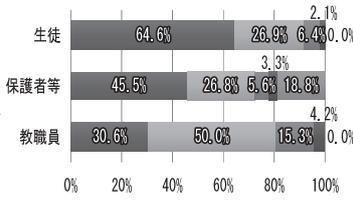
(6) 教育課程(授業)は進路に対応する選択ができるように組まれていますか。

生徒89.6%(昨年91%)、保護者等73.6%(昨年67%)、教職員89.5%(昨年87%)が肯定的に評価をしている。1年生は91.1%、2年生は84.5%、3年生は94.1%が肯定的な回答をしている。普通科では、コース選択を考えていく1年次に、進路学習や個人面談を重ねていく必要がある。大学入試等の進路情報を、早い段階から丁寧に生徒や保護者等に提供していくことで、適切な科目選択となるように努めていく。さらに、今年度は、生徒の進路実現をより一層促進するため、来年度から使用する教育課程の見直しを行った。今後も確かな学力を身につけた人材の育成に取り組んでいく。

対象	1	2	3	4	5	無回答
生徒	44.2%	45.4%	8.1%	0.0%	2.2%	0.0%
保護者等	34.4%	39.2%	7.1%	13.4%	0.9%	0.0%
教職員	31.3%	58.2%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%

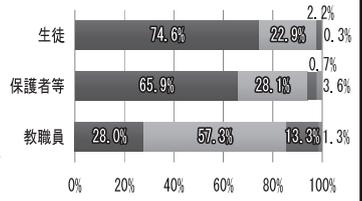
(7) 本校が定期的(月1回)に実施している服装・頭髪の指導は適切だと思いますか。

生徒91.5%(昨年90%)、保護者等72.3%(昨年69%)、教職員80.6%(昨年87%)が肯定的に評価しており、生徒の評価が若干上昇し、保護者等についても上昇している。服装・頭髪については、学校として全教員で統一した指導を行ってきた。今後も時と場所に応じた適切な服装や行動ができるよう、生徒の意識を高める取組を行っていく。



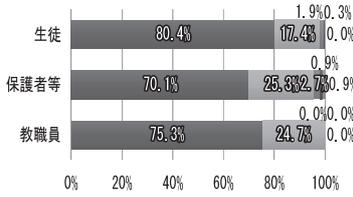
(8) 本校は遅刻指導、挨拶指導など基本的な生活習慣の確立に力を入れていますが、校則を守り、規則正しい高校生活を送っていますか。

生徒97.5%(昨年97%)、保護者等94.0%(昨年95%)、教職員85.3%(昨年85%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等ともに高い評価を得ている。多くの生徒が自覚ある高校生活を送っていると考えられることから、今後も指導の充実と徹底を行っていく。



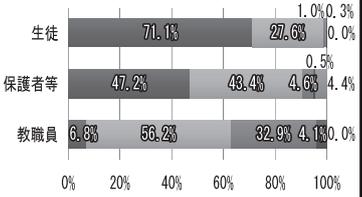
(9) 学校行事(ホームマッチ、文化祭、体育祭など)に、意欲をもって取り組んでいますか。

生徒97.8%(昨年97%)、保護者等95.4%(昨年94%)、教職員100%(昨年100%)が肯定的な評価をしている。真摯に学校行事へ取り組む生徒の姿勢や、積極的に学校行事へ参加する生徒の意欲の高さが表れている。今後も、生徒が学校生活に充実感を得られるよう、生徒の声を生かしながら、学校行事等の充実を図っていく。



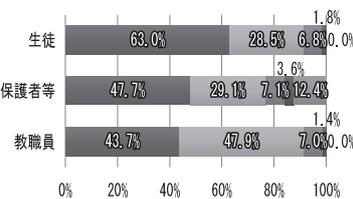
(10) 本校は交通マナー向上のために、街頭指導など交通安全指導に力を入れていますが、交通マナーを十分守っていますか。

生徒98.7%(昨年99%)、保護者等90.6%(昨年90%)、教職員63.0%(昨年68%)が肯定的な評価をしている。大部分の生徒は交通ルールを遵守しているが、一部の生徒の自転車マナーの悪さや、通学時の事故が多い現状もみられる。今後も、警察署や交通安全協会、地域の方々とも連携した交通安全に関する活動を継続するとともに、自転車ヘルメット着用も含めたさらなる交通安全教育の充実を図っていく。



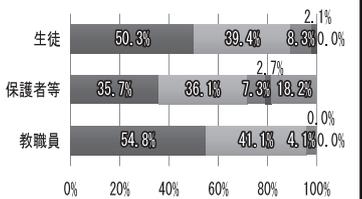
(11) 本校は、適切に部活動の指導を行っているといますか。

生徒91.5%(昨年93%)、保護者等76.8%(昨年74%)、教職員91.6%(昨年94%)が肯定的な評価をしている。今後も部活動の活性化に向け、部活動ガイドラインに基づく指導の徹底を図るとともに、熱中症対策やケガ等への対策も含めた取組を進める。



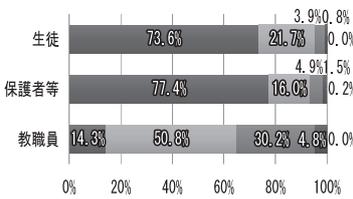
(12) 本校は、生徒一人ひとりに適したきめ細かい進路指導を行っているといますか。

生徒89.7%(昨年90%)、保護者等71.8%(昨年67%)、教職員96.2%(昨年100%)が肯定的な評価をしている。生徒の肯定的評価は昨年度と同程度で、保護者等の肯定的な評価は上がっている。今後も、最新の進路情報を収集し、さらにきめ細かい情報の伝達を行うとともに、指導方法についても工夫・改善をしていく。



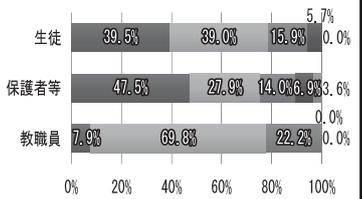
(13) 本校の進学補習(土曜補習)を、毎回受講していますか。

生徒95.3%(昨年91%)、保護者等93.4%(昨年92%)、教職員65.1%(昨年74%)が肯定的な評価をしている。生徒の学習への意欲は高く、保護者等の関心も高いと思われる。今後も、生徒の進路実現に向けて、授業・補習の充実と課題に対する取組の充実を図っていく。



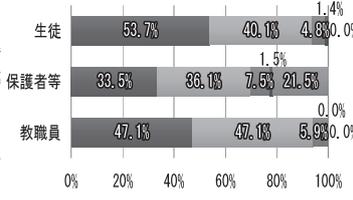
(14) 本校から配付している連絡文書、案内文書、学校通信「若鳩」はご家庭に届いていますか。

生徒78.5%(昨年80%)、保護者等75.4%(昨年74%)、教職員77.7%(昨年85%)が肯定的な評価をしている。生徒や保護者等の回答から、家庭に連絡文書等が十分に届いていない現状が確認できる。保護者等あての文書は、本校ホームページに掲載したり、「すぐる」でも配信したりしている。また、学校での活動についても、引き続きホームページに掲載し、発信していく。文書は、学校と家庭の情報共有を図るうえで大切な手段であるため、生徒にも重要なものという意識付けを徹底していく。



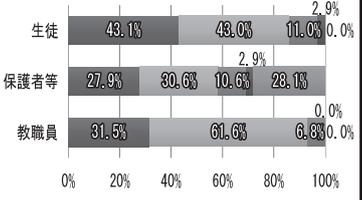
(15) 本校は、進路指導に必要な進路教材・資料の提供は十分であると思いますか。

生徒93.8%(昨年95%)、保護者等69.6%(昨年66%)、教職員94.2%(昨年99%)が肯定的な評価をしている。保護者等の「分からない」は21.5%である。生徒からは一定の評価を得ているが、保護者等の肯定的な評価が少し低く、「分からない」も多い。大学入学共通テストや各大学の入試について、不安を感じる保護者等が増えていると思われるため、生徒・保護者等にとって進路決定の参考となるよう、さらなる情報提供の工夫をしていく。

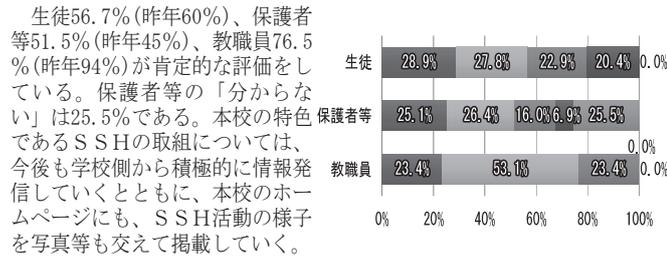


(16) 本校は、生徒の悩みについて、相談できる体制づくりができていると思いますか。

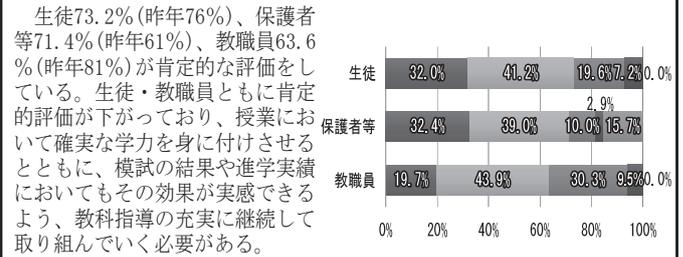
生徒86.1%(昨年86%)、保護者等58.5%(昨年54%)、教職員93.1%(昨年91%)が肯定的な評価をしている。保護者等の「分からない」は28.1%である。今後も、生徒・保護者等に向けて、本校における相談・支援体制を周知していくとともに、今まで以上にスクールカウンセラーとの相談しやすい体制づくりと、校内や外部の関係機関との連携を密に図っていく。



(17) 本校は、スーパーサイエンスハイスクール(S S H)の指定を受け、課題研究発表や体験ゼミなど各種の取組を行っていますが、積極的に参加していますか。

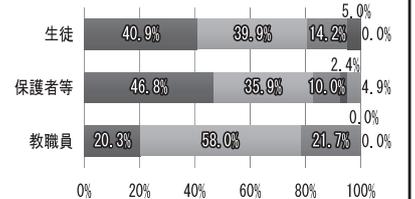


(18) 本校は、5 0分7限授業(水曜日は6限)を行っていますが、学力面で効果を上げていると思いますか。



(19) 地域や保護者の皆様にとって来校しやすい学校だと思いますか。

生徒80.8% (昨年74%)、保護者等82.7% (昨年71%)、教職員78.3% (昨年80%)が肯定的な評価をしている。今年度は高知市納涼花火大会に際して、地域の方々に食堂を開放したり、様々なPTA行事を開催し、保護者等の方々が来校する機会を設定したりするなどの取組を行った。今後も地域の方々や保護者等の協力を得ながら、文武両道の質の高い教育を目指して取り組んでいく。



小津会等の皆様のアンケートの結果 15名のうち 11名回収 (回収率 73.3%)

小津高校に期待する事項について、11項目の中からの選択をお願いしました。集計結果は下のとおりとなります。

「分かりやすい授業をする」の項目は、最も多くの方が選択されています。「教職員の資質・指導力を向上させる」、「進学・就職希望に応える教育をする」「学校行事や部活動を充実させる」の項目は、順位が入れ替わっていますが、今年度も上位に挙げられています。その他に「社会のルールや決まりについての指導に力を入れる」についても上位に入っています。

自由記述欄には、「生徒の主体性を育てる教育を期待します」「変化の激しい社会の中で、どのような力を生徒に身につけてもらうかを理解し、日々の授業、学校行事に反映させていただきたい」「文武両道を貫き、社会人になった時に活躍できる人を育成していただきたい」「なぜ、どうして、広く原理原則を考えられる人を育ててもらいたい」「生徒の進路希望の実現にご尽力をお願いします」といったご意見がありました。今後も生徒、保護者等や地域の方々の期待に応えるべく、一層の取組の充実を図り、教員の指導力の向上、魅力ある学校づくりを目指すとともに、社会に通用する人材の育成に尽力したいと考えています。

これからの小津高校に期待すること (3つ選択で上位5つまで)

- 1位 分かりやすい授業をする (昨年3位) 8名 (72.7%)
- 2位 教職員の資質・指導力を向上させる (昨年2位) 7名 (63.6%)
- 3位 進学・就職希望に応える教育をする (昨年1位) 6名 (54.5%)
- 4位 学校行事や部活動を充実させる (昨年4位) 5名 (45.5%)
- 5位 社会のルールや決まりについての指導に力を入れる (昨年8位) 3名 (27.3%)



令和7年度 大学・短大及び専門学校等・就職現役生合格者数

令和8年2月18日現在

国公立大学	合格数
埼玉大学	1
新潟大学	1
島根大学	1
岡山大学	2
愛媛大学	3
高知大学	27
兵庫県立大学	2
山口県立大学	1
高知県立大学	13
高知工科大学	24
国公立大学合計	75

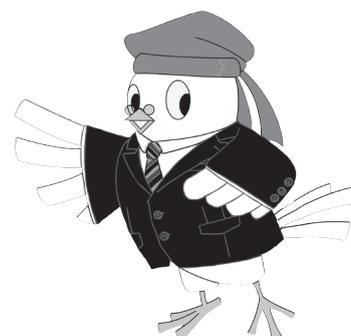
私立大学	合格数
酪農学園大学	1
青山学院大学	1
東海大学	1
麻布大学	1
関東学院大学	1
鶴見大学	1
愛知学院大学	1
中京大学	1
京都産業大学	2
京都薬科大学	1
京都橘大学	1
同志社大学	1
龍谷大学	4
京都美術工芸大学	1
関西大学	6
関西外国語大学	2

私立大学	合格数
近畿大学	5
摂南大学	1
大阪成蹊大学	1
森ノ宮医療大学	1
大和大学	1
関西学院大学	2
神戸学院大学	5
神戸女子大学	1
神戸薬科大学	1
岡山理科大学	2
就実大学	1
美作大学	2
環太平洋大学	3
広島工業大学	2
広島文教大学	1
徳島文理大学	4
高松大学	1
松山大学	3
高知リハビリテーション専門職大学	3
高知学園大学	2
高知健康科学大学	2
私立大学合計	70

短期大学	合格数
奈良芸術短期大学	1
高知学園短期大学	12
短期大学合計	13

専門学校等	合格数
東洋医療専門学校	1
E S Pエンタテインメント	1
神戸製菓専門学校	2
高知開成専門学校	1
龍馬情報ビジネス&フード専門学校	1
龍馬デザイン・ビューティ専門学校	1
T i a c土佐情報経理専門学校	2
四国職業能力開発大学校	1
近森病院附属看護学校	2
専門学校等合計	12

就職	合格数
海上保安学校	1
高知県警察（警察官B）	3
高知県職員（教育事務）	1
高知県職員（警察事務）	1
自衛隊（一般曹候補生）	3
自衛隊（航空学生）	1
土佐清水市職員（一般行政）	1
就職合計	11



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の保護者等の方々にもお喜び申し上げます。

卒業や学校行事に懸命に取り組む卒業生の姿は、後輩たちへの良い刺激となりました。小津高校で学んだことを生かし、たくましく自分の未来を切り開いて前進していかれることを願っています。

今年では保護者等の方々や三年団の先生方からお祝いのメッセージを寄せていただいたことができました。心のこもった言葉を本当にありがとうございます。

今年はこちらが最終号となります。これまでの編集に際してご協力いただきました皆様、誠に深く感謝申し上げます。今後掲載しただけの方々、の声を掲載し、皆様に親しまれる紙面づくりを心掛けたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。



編集後記

行事予定

3月3日(火)・4日(水)
高校入試A日程

3月19日(木) 終業式

4月7日(火) 始業式・入学式